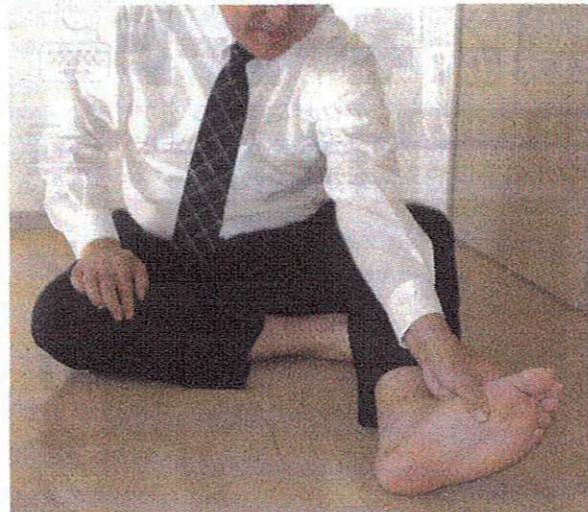


「足がジンジン、ピリピリする」。足の裏に灼熱感がある。砂利の上を歩いているみたい。——血糖値が高い人が、こうした感覚に襲われたら、糖尿病性の神経障害を疑った方がいい。放っておくと末は足の切断を余儀なくされる恐ろしい病気だが、その前に足の違和感から不眠に陥るケースもあるという。

昨年、こうした足の違和感を解消する薬が認可され、効果を上げているという。どんな薬か。糖尿病専門医で「しんくりニック」(東京・蒲田)の辛浩基院長に聞いた。



足の違和感で眠れない人の

特効薬

灼熱感はやまとは憂うつな気分を和らげ、意欲を高める薬因で夜寝られなくなつた。治療に使われていた「工藤さんは、昨年から糖尿病性足底の灼熱感神経障害の薬として承以外に足全体認されている。

値7・2%、しびれや痛みが出てからの期間4・27年にサインバルタを投与したところ、1カ月で90%以上の患者に症状の改善がみられたという。

「サインバルタは糖尿病性神経障害に伴う痛みにやしびれに対する薬として世界98カ国で承認され、各国の治療ガイドラインの中で第一選択薬として推奨されています。そもそもヒトの中枢神経には痛みを伝える神経系と痛みを抑える神経系の2通りあり、この薬は後者を活性化させることで症状を抑えるのです」

ただし、よく効く薬

工藤隆文さん(仮腎症)のひとつであるのピリピリ感やむずが「素晴らしい効果があつた。61歳)が「糖尿病神経障害が出ていまゆさがあつた。そのりました。飲み始めての疑いあり」と診断された。の後は、夜中に突然こむ4日目足底のピリピリしたのは15年前のこと。当時の検査値は直近の戻りを起こして、跳感や足裏の灼熱感が薄れたのです。1カ月前も1〜2カ月の血糖の状ぶ起きることが何回も続いたのです」

「工藤さんは、昨年から糖尿病性足底の灼熱感神経障害の薬として承以外に足全体認されている。

「サインバルタは糖尿病性神経障害に伴う痛みにやしびれに対する薬として世界98カ国で承認され、各国の治療ガイドラインの中で第一選択薬として推奨されています。そもそもヒトの中枢神経には痛みを伝える神経系と痛みを抑える神経系の2通りあり、この薬は後者を活性化させることで症状を抑えるのです」

ただし、よく効く薬

「工藤さんは、昨年から糖尿病性足底の灼熱感神経障害の薬として承以外に足全体認されている。」

「工藤さんは、昨年から糖尿病性足底の灼熱感神経障害の薬として承以外に足全体認されている。」

「工藤さんは、昨年から糖尿病性足底の灼熱感神経障害の薬として承以外に足全体認されている。」

「工藤さんは、昨年から糖尿病性足底の灼熱感神経障害の薬として承以外に足全体認されている。」

「工藤さんは、昨年から糖尿病性足底の灼熱感神経障害の薬として承以外に足全体認されている。」

「工藤さんは、昨年から糖尿病性足底の灼熱感神経障害の薬として承以外に足全体認されている。」

1カ月で9割の改善例も

は副作用への配慮が必要だ。

サインバルタの

糖尿病性神経障害

患者への国内安全

性試験では傾眠、

悪心、高血糖、便秘、

めまいなどの副作用が

報告されている。

それとは別に断薬・

減薬時の離脱症状を訴

えるうつ病患者もい

る。

使用に際しては、薬

に詳しい医師と十分話

し合うことが必要だ。